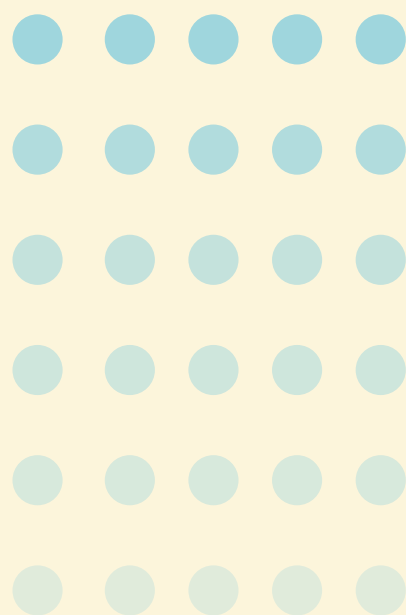


ENVIRONMENTAL REPORT

環境報告書

2022



目次

ごあいさつ P.1

会社概要 P.2

環境基本方針 P.3

環境目標・実績 P.4

2021年度環境負荷低減の取組み P.5～P.8

地球温暖化・省エネルギーの取組み

省資源・廃棄物削減の取組み

- 水資源の有効活用
- 廃棄物削減の取組み

化学物質排出削減の取組み

マテリアルフロー P.9

環境関連商品 P.10

2021年度拠点ごとの活動状況 P.11～P.19

ダイニックは、製品の開発から廃棄まで 常に環境保全を考えた企業活動を推進しています。

暮らしを「豊かに」そして「快適に」彩ることがダイニックのテーマです。

ダイニックグループは、住みよい地球に向かうための環境基本方針を常に心掛け、生物多様性と気候変動に伴うリスク対応を重要課題として認識し、技術と環境との調和を踏まえた、環境にやさしい企業活動に日々努めております。

国内にある5つの工場では、すでに省エネルギー設備導入や再生可能エネルギーの利用推進などカーボン・ニュートラルに向けた活動を行ってきました。これからもこの活動を強化し継続していくとともに、生物多様性に配慮した商品設計や保全活動を推進してまいります。

1987年に開館した天究館では、多賀町と協力し天体観望会やプラネタリウム上映を通して環境啓発活動を継続しています。

国内外のグループ会社におきましても、省エネルギー設備の導入や生物多様性保全の取組みなどを継続して推進しております。

今後も信頼される企業であり続けるために、次世代に向けて、全従業員が一丸となって環境対策への取組みを強化し、地球環境と生活環境に配慮した環境関連商品の開発に取り組み、地球環境保全の実現に貢献する企業活動を推進してまいります。



令和4年8月

ダイニック株式会社
代表取締役社長

小田英伸

会社概要

商号	ダイニック株式会社 DYNIC CORPORATION
創立	1919年8月18日
資本金	57億9,565万円
株式	東京証券取引所スタンダード市場
売上高	284億円（グループ含み389億円） （2022年6月28日現在）
従業員	622名（グループ含み1,216名） （2022年6月28日現在）
本社	東京本社：〒105-0004 東京都港区新橋6-17-19 新御成門ビル 電話 03-5402-1811（代） FAX 03-5402-3146
	京都本社事務所：〒615-0812 京都市右京区西京極大門町26 番地
営業所	札幌、東京、名古屋、大阪、福岡、香港、シンガポール、米国、タイ、英国、中国、インドネシア、チェコ（グループ含む）
工場	滋賀、埼玉、王子、富士、真岡、米国、タイ、英国、中国、インドネシア、チェコ（グループ含む）
関連会社	国内7社、海外11社
事業内容	書籍装幀用クロス、印刷・ビジネス用各種クロス、パッケージ用化粧クロス、銀行通帳用クロス、フィルムコーティング製品、表示ラベル用素材、複合フィルム、プリンターリボン、名刺プリンタ、文具紙工品、磁気関連製品、有機EL用水分除去シート、カーペット、壁装材、天井材、ブラインド、自動車内装用不織布・カーペット、フィルター、産業用ターポリン、テント地、雨衣、産業用不織布、容器密封用アルミ箔・蓋材、各種紙管紙器、パップ剤用フィルム加工、食品鮮度保持剤、接着芯地、ファンシー商品、商品等運送・保管他（グループ含む）

環境基本方針

地球温暖化をはじめとする地球規模の環境問題が深刻化するなか、カーボン・ニュートラルや循環型社会の構築に取り組むことが求められています。ダイニック株式会社は「環境基本方針」を以下のとおり定め、環境対応に取り組んでおります。

【環境基本方針】

ダイニック株式会社は、環境保全への取り組みを重要な経営課題と認識し、国内外の環境関連法規制を遵守するとともに、環境負荷のより小さい製品を市場に提供していくことがメーカーとしての責任と考えている。その考えを具体的に実行するため、開発、資材調達、製造、販売、流通、及び廃棄のそれぞれの段階で、以下の項目を徹底推進する。

- (1) 製品のライフサイクルを通じ、事業活動のすべての段階で環境負荷低減と、生物多様性保全等への配慮に努める。
- (2) 省エネ、廃棄物削減に積極的に取り組み、環境汚染の防止に努める。
- (3) 有害な化学物質により環境を損なうリスクを低減する。
- (4) 環境に関する事業活動についての情報を開示し、地域社会等と協調しながら、環境保全活動を積極的に推進する。
- (5) 環境保全に対する教育を徹底し、環境への意識向上を図る。

ダイニック株式会社

代表取締役社長 山田 英伸

環境負荷低減の取り組み

製品の設計段階から、環境負荷の少ない素材、再利用しやすい素材を考慮することはもちろん、エネルギー負荷の少ない製造方法や、省資源、長寿命化を考慮した製品設計を行なっています。製造段階では、日々の製造現場において、省エネルギー・廃棄物削減に努め、環境負荷低減に取り組んでいます。販売段階では、当社製品をご利用いただくことで、お客様の環境負荷が低減できる環境関連商品を提案し、地球環境保全に貢献する取り組みを行なっています。

地球温暖化対策・生物多様性保全の取り組み

ダイニック全体で省エネルギー活動に取り組み、二酸化炭素の排出を削減することにより、地球温暖化対策を推進しています。また、生物多様性保全についても、持続可能な社会構築に貢献し、地球環境と共生できる企業を目指して取り組んでいます。

環境目標・実績

ダイニックでは 環境中期目標（2021 年度～ 2023 年度）を設定し、推進していきます。
2021 年度取組み実績は、以下の通りです。

2021 年度の環境目標・実績一覧

取組項目	単位	2021年度				2022年度 目標	2023年度 最終年目標	
		目標	実績	自己 評価	関連 ページ			
温暖化対策 省エネルギー	CO2 排出量削減	t-CO2	2013年度比 8%削減	-11.7%	○	P5	2013年度比 9%削減	2013年度比 10%削減
	エネルギー 原単位の改善	原油換算 ℓ/km	2017年度比 4%改善	-2.3%	△	P5	2017年度比 5%改善	2017年度比 6%改善
省資源	水の使用量 削減	千t	2017年度比 4%削減	+7.2%	×	P6	2017年度比 5%削減	2017年度比 6%削減
廃棄物の3R	廃棄物量 の削減	t	2017年度比 4%削減	-3.0%	△	P7	2017年度比 5%削減	2017年度比 6%削減
	産業廃棄物 最終処分量 の削減	t	2017年度比 4%削減	+67.1%	×	P7	2017年度比 5%削減	2017年度比 6%削減
環境汚染防止	PRTR対象 化学物質 排出量削減	t	2016年度比 25%削減	+11.1%	×	P8	2016年度比 30%削減	2016年度比 35%削減
環境関連商品	対売上比率 の向上	%	2020年度比 0.5%向上	-2.4%	×	P10	2020年度比 1.0%向上	2020年度比 1.5%向上

<自己評価凡例>

◎：目標の2倍以上達成

○：目標を達成

△：目標は達成できなかったが目標に近づいた

×：目標に向けた改善ができなかった

2021年度 環境負荷低減の取組み

地球温暖化・省エネルギーの取組み

生産活動ではエネルギーを消費し、製品を造りだしています。これに伴い、温室効果ガスであるCO₂を排出します。CO₂の排出削減を目的に、生産工程でのエネルギー使用量の削減に取り組んでいます。各種省エネ設備の投資として、工場天井照明のLED化、空調機やチラーの高効率型への変更、コンプレッサーのインバータ化、蒸気配管改修、自家消費型太陽光発電設備の導入等を計画的に実施しており、また設備の新設や改善などのエネルギー効率を良くする生産性改善も実施してきました。

2021年度は生産数量の11.3%増加に対し、エネルギー使用量は前年度比9.2%増加、CO₂排出量は前年度比8.9%増加にとどまり、結果としてエネルギー原単位は前年度比1.9%の改善となりました。2022年度も、生産性改善や省エネ設備投資をさらに進め、さらなる改善に取り組んでゆきます。

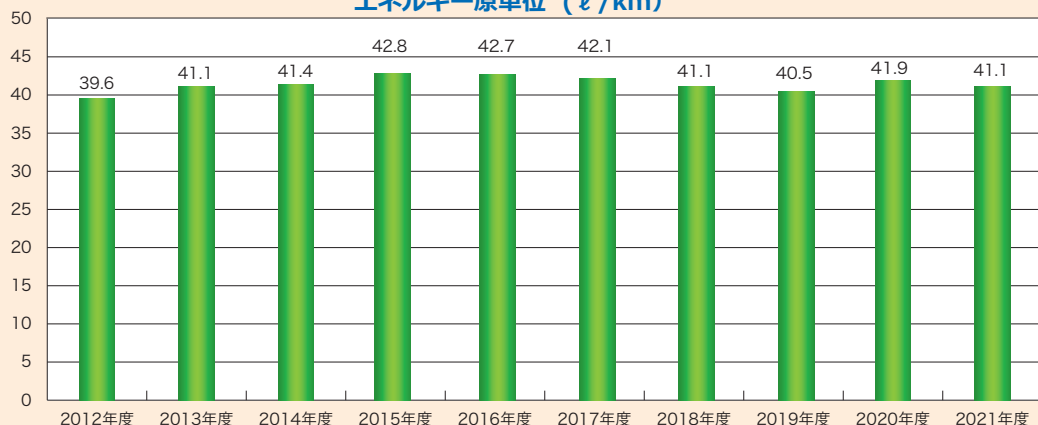
原油換算エネルギー使用量 (kℓ)



CO₂ 発生量 (t-CO₂)



エネルギー原単位 (ℓ/km)



2021年度 環境負荷低減の取組み

省資源・廃棄物削減の取組み

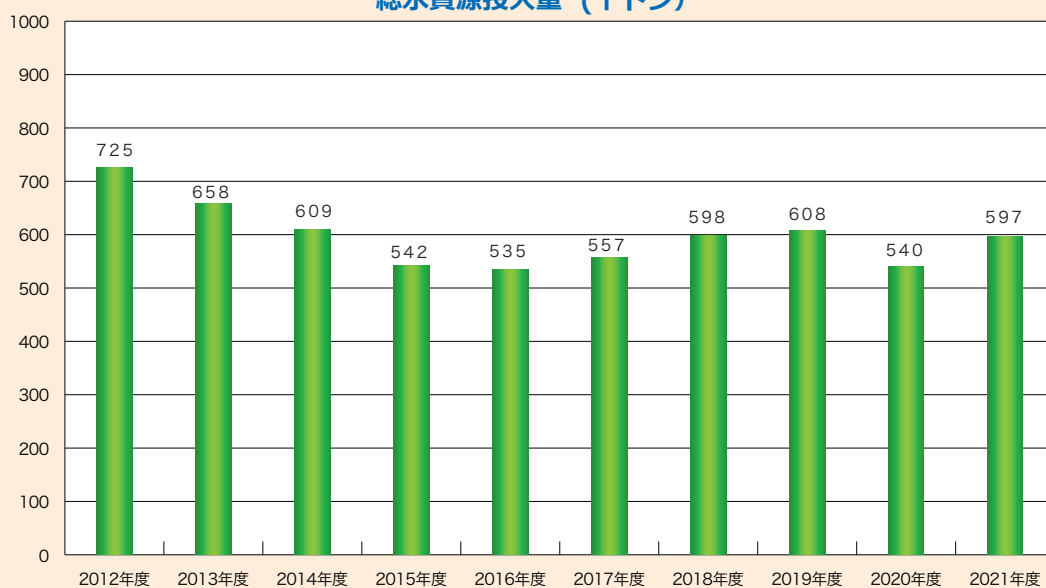
● 水資源の有効活用

生産工程で使用する洗浄水や、冷却水などのリサイクルを推進し、水資源の有効活用に取り組んできました。

2021年度の総水資源投入量は前年度比 110.5%、総排水量も前年度比 111.0%と大幅に増加しました。

2022年度は、無駄な水資源の利用を見直し、総水資源投入量を抑制するべく活動します。

総水資源投入量 (千トン)



総排水量 (千トン)



2021年度 環境負荷低減の取組み

省資源・廃棄物削減の取組み

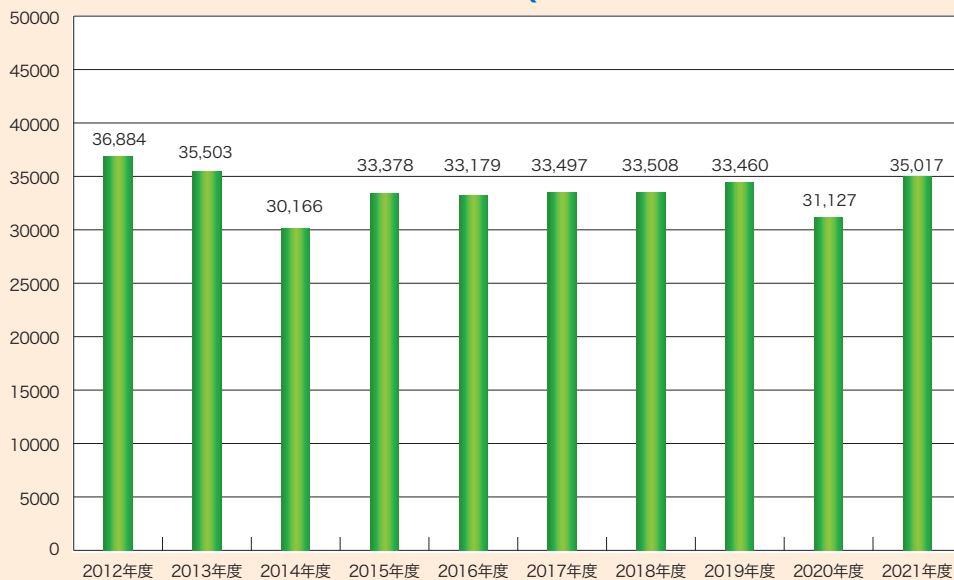
● 廃棄物削減の取組み

地球環境保全のため、廃棄物の削減に取り組んでいます。廃棄物の発生を抑えるだけでなく、資源の有効利用の観点から、リユース・リサイクルを進めてきました。

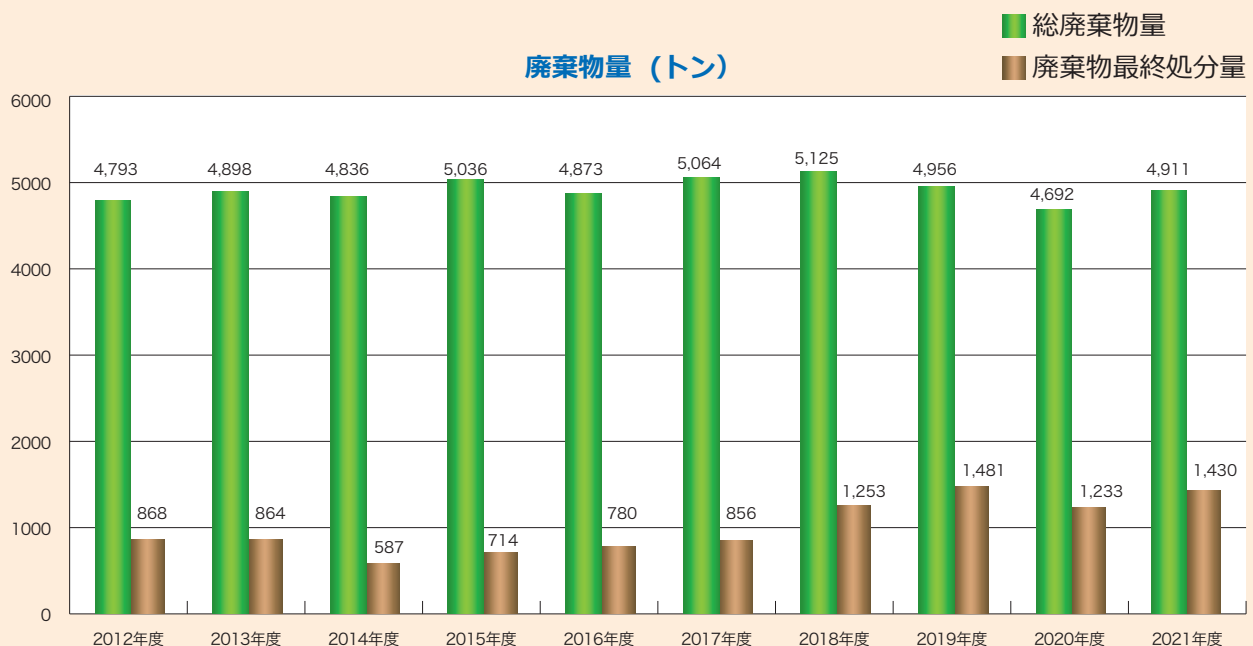
2021年度の総物質投入量は、コロナウイルス感染の終息傾向による生産量の大幅な増加から、12.5%増の35,017トンとなりました。総廃棄物量は前年度比4.7%増の4,911トンとなりました。廃棄物最終処分量は前年度比16.0%増となり、大幅な増加となりました。

2022年度は、廃棄物最終処分量増加傾向の歯止めをかけるとともに、効率的な生産を続けます。

総物質投入量 (トン)



廃棄物量 (トン)



2021年度 環境負荷低減の取組み

化学物質排出削減の取組み

化学物質排出把握管理促進法（P R T R法）に従い、製造工程で使用している化学物質の環境への排出量の届け出を行うとともに、削減に努めています。

2021年度は、生産量変動などの影響を受け、排出量が前年度比53.3%、移動量も10.1%と共に増加しました。

2022年度は中長期計画目標である2016年度比排出量30%削減を目指し取り組んでいきます。

PRTR対象物質総排出量（トン）



PRTR対象物質総移動量（トン）



2021年度の事業活動における 環境負荷の全体像 (マテリアルフロー)

当社企業活動・生産活動のために投入した原材料、エネルギー、水資源 (INPUT) に対して、各種排出物 (OUTPUT) から環境負荷を把握し、効率的な事業活動による資源の有効活用に取り組んでいます。

2021年度は、生産品種の関係で、P R T R対象物質の排出量が増加してしまいました。

2022年度は、資源の有効活用にさらに取り組んでまいります。

INPUT	
エネルギー使用量	13757 kℓ (原油換算)
電力(買電)	29800 MWh
LNG	1549 ton
都市ガス	3275 千m ³
A重油	390 千ℓ
LPG	27 ton
ガソリン	7 千ℓ
水使用量	597 千ton
地下水	356 千ton
工業用水	185 千ton
上水	55 千ton
原材料総投入量	35017 ton

事業活動

ダイニック製品群

出版文具関連
情報関連
不織布関連
衣料関連
住宅・インテリア関連
工業用途関連
特殊材料加工
包材関連

OUTPUT	
温室効果ガス(CO₂排出)	
生産からの排出	24996 t-CO ₂
製品物流からの排出	941 t-CO ₂
※製品物流は 関連会社に委託しています。	
大気への排出	
PRTR対象物質	412 ton
NOx	17.2 ton
SOx	0.4 ton
ばいじん	0.2 ton
水系への排出	
排水量	488 千ton
BOD	0.5 ton
COD	1.3 ton
土壌への排出	
	なし
化学物質(PRTR対象物質)	
環境への排出	412 ton
廃棄物としての移動	211 ton
廃棄物総発生量	
焼却・埋処分量	1430 ton
リサイクル量	1813 ton
有価物量	1667 ton
リサイクル率	71 %

環境関連商品

ダイニック株式会社は社会の発展や、より豊かな暮らしの創造に貢献するさまざまな商品の開発に、鋭意取り組んでいます。そしてそのような新商品を社会に提供することが、事業を通じた社会への貢献につながるものと考えています。当社では、「地球環境と生活環境に配慮した商品」を環境関連商品と定義しています。

地球環境に配慮した商品

【環境への負荷を低減した商品】

■ 脱塩ビ・脱プラスチック・脱溶剤各種商品

非塩ビファイル(エコファイル)、オレフィン系クロス、※紙製磁気カード、EVA コンテナ、ファイル・バインダー・手帳用表紙クロス水性化 等

■ 再生紙、再生繊維、再生樹脂を使用した各種商品

再生紙使用紙クロス、教科書用紙クロス、背貼り用紙クロス、※再生ポリエステル使用カーペット 等

■ 持続可能な天然資源を使用した商品

※FSC 認証紙クロス(エパロン)、レーヨン100%カラー不織布(パネロンカラーシート) 等

【処理処分を考慮した商品】

■ 廃棄のし易さを考慮した商品

ラップ・アルミホイルのカット用紙刃、乳飲料・紙蓋材等

■ 省資源・3R(Reuse,Recycle,Reduce) に貢献する商品

ストレッチ壁紙、トナーカートリッジ再生、詰替え用サブカセット、自動車天井内装材(軽量化)、有機 EL 乾燥剤(長期使用性) 等

生活環境に配慮した商品

■ 快適な空間を提供する商品

パネロン脱臭フィルター、抗菌消臭壁紙、マイナスイオン壁紙、抗ウイルス壁紙、空気清浄機用フィルター材、不織布床防音材 等

■ 健康・食品の鮮度保持に役立つ商品

耐水食品包材、食品鮮度保持剤、※熱転写インクリボン、※ニックセブン表示用ラベル(エコテックス登録)、パップ材の離型フィルム 等

■ 抗菌・消臭を付与した各種商品

抗菌装丁用クロス 等

※印の商品は第三者認証商品です

環境関連商品売上高占有率 (%)



◎これら環境関連商品の個別の内容説明は、当社ホームページに掲載していますのでご覧ください。

当社は「環境関連商品で社会に貢献する」をキーワードに積極的に商品の開発を行ってきました。

2021年度の環境関連商品の当社売上に占める比率は33.4%で目標を達成出来ませんでした。

これからも、人の健康と環境に配慮した環境関連商品売上高占有率を上げてゆくことで、社会に貢献してゆきたいと考えております。

2021年度 拠点ごとの活動状況

活動状況を紹介している国内拠点



活動状況を紹介している海外拠点



2021年度 拠点ごとの活動状況

滋賀工場 ～ハイテクと自然との調和をめざすモデル工場～

滋賀工場は、琵琶湖水系の清らかな水と澄んだ空気が育んだ緑の山々に囲まれた、約35万平方メートルという広大な敷地を持つダイニック最大の工場です。ここではダイニック独自の高度なテクノロジーをバックボーンにして、ブッククロス、通帳用クロス、壁紙、織物芯地などのダイニックの主要製品の数々が生産されています。

豊かな自然環境の恩恵を受けたこの工場はまた、自身も自然環境との調和、およびその保全を重視してきました。排水処理を完備し、資源のリサイクル活用にも力を注ぎ、省エネ・無公害をテーマとしたモデル工場として高い評価を得ています。



環境指数の実績

項目	省エネ原単位 (kℓ/km)	CO ₂ 排出量(t)	水資源投入量 (kℓ)	総廃棄物量(t)	最終処分量(t)	PRTR対象物質 排出量(t)
実績	0.061471	9729	188	1632	534	34
前年比	-0.6%	+8.7%	+20.4%	+4.5%	+42.4%	+5.8%

環境負荷低減のために ～再生可能エネルギーの活用～ カーボンニュートラルへの取組み

●自家消費型太陽光発電設備の導入

滋賀工場では、2021年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金を活用し、技術棟、開発棟建屋屋上に、合計166kwの太陽光パネルを設置しました。



自家消費型太陽光発電設備の導入により、年間で約18万kwhの発電量が期待できます。これは滋賀工場での年間電気使用量の約1.8%に相当します。発電した電力のすべてを自家消費しており、CO₂排出量の削減に貢献しています。今後も再生可能エネルギーを積極的に活用し、カーボンニュートラルを目指して活動していきます。

2021年度 拠点ごとの活動状況

生物多様性保全への取組み・地域とともに

●ゴミゼロ清掃活動

滋賀工場の地元多賀町では、滋賀県が環境美化の日と定める5月30日（ゴミゼロ）の前後に清掃活動を毎年行っています。

当社もこの活動に賛同し、5月29日（日）に、多賀町の国道306号線沿いのゴミゼロ清掃活動に参加しました。



●森林保全活動

当社も加盟している公益社団法人滋賀県環境保全協会が10月16日（土）に多賀町高取山ふれあい公園で開催した「森林整備ボランティア活動」に当社から9名参加しました。

枝打ち作業、雑木の伐採・整理、下草刈りの森林整備を行い、清々しい汗を流しながら自然と触れ合うことができ、良い経験となりました。



2021年度 拠点ごとの活動状況

埼玉工場 ～未来志向の高度な複合技術と最新のFAライン～

ダイニックの東の生産拠点である埼玉工場は、技術開発に力をおいた未来指向の工場として稼動しています。高度な複合技術と最新の自動化・FA（Factory Automation）ラインを駆使して、情報業界の最先端を支えるハイテク製品から、生活に密着した産業製品まで幅広く網羅。その生産体制は6つの工場から成り立っており、それぞれ紙クロス、ビニルクロス、インクリボン、FFC（精密フィルムコーティング）、カーペット、不織布を担当しています。地域・環境対策にも怠りはなく、緑化推進や産業廃棄物のリサイクルシステムは、公共機関などからも高い信頼をもって認知されています。



環境指数の実績

項目	省エネ原単位 (kℓ/km)	CO ₂ 排出量(t)	水資源投入量 (kℓ)	総廃棄物量(t)	最終処分量(t)	PRTR対象物質 排出量(t)
実績	0.042997	11086	263	2038	602	321
前年比	-3.6%	+10.1%	-1.5%	+2.5%	-7.2%	+76.8%

環境負荷低減のために ～省エネルギー設備導入～ 低炭素の取組み

●第5工場屋根の遮熱

前回の塗装から25年が経過した第5工場の屋根に、遮熱塗装を行いました。

第5工場は屋根からの熱が直接作業場に伝わる構造のため、特に夏季は場内が非常に暑くなっていました。

遮熱塗料を採用し、また屋根の色を白色としたことで、熱の伝わりが抑えられ、作業環境改善と冷房効率の改善になりました。



●コンプレッサのインバータ化

第2工場と第6工場のコンプレッサを各1台更新しました。これらのコンプレッサはインバータを内蔵した省エネルギータイプで、大幅な電気使用量削減につながっています。

なおこの2台のコンプレッサ導入には、「先進的省エネルギー投資促進支援事業費」から補助金の交付を受けています。



2021年度 拠点ごとの活動状況

生物多様性保全への取組み

●周辺美化活動

埼玉工場では毎月1回、工場周辺道路の清掃活動を行っています。2021年度は合計12回実施し、吸い殻や飲料ボトルなどを回収しました。



●特定外来種への対応

埼玉県が実施した県民参加のクビアカツヤカミキリ発見大調査に協力し、敷地内の樹木を対象に調査を行いました。その結果、ソメイヨシノ2本で感染を確認し、関係自治体に通報しました。

該当木には、深谷市にご指導いただき薬剤注入を行いました。現在、経過観察を行っています。



◀幼虫の食害を受けているサクラの木
茶色いカリントウのような物を排出しています。



◀クビアカツヤカミキリ (Aromia bungii) は繁殖力が強く、北関東でも分布を拡大しています。サクラの他、ウメやモモなどの果樹に侵入し、被害木を枯死させてしまうこともあります。

●グリーンカーテン

工場事務所棟南側に試験的にグリーンカーテンを設置してみました。設置面積が小さかったため省エネ効果はなかったのですが、室内から見た時に涼しげに見える視覚効果を得られました。



2021年度 拠点ごとの活動状況

真岡工場 ～管理のゆきとどいた作業環境で、安全な品質をお届けしています～

真岡工場は、アルミ箔蓋材をはじめ急速に多様化する蓋材のニーズに対し、アルミ箔加工の技術基盤を活かし、フィルムとの複合蓋材への対応を実現して、食品や産業用の軟包材分野で厚い信頼をいただいています。

私たちは、保有技術のいっそうの活用をはかり、「つぎ」へのチャレンジを行なっています。



環境指数の実績

項目	省エネ原単位 (kℓ/km)	CO ₂ 排出量(t)	水資源投入量 (kℓ)	総廃棄物量(t)	最終処分量(t)	PRTR対象物質 排出量(t)
実績	0.008865	2089	126	657	140	19
前年比	-6.7%	+2.8%	+32.5%	+7.8%	+82.0%	-5.0%

環境負荷低減のために ～省エネルギー設備導入～ 低炭素の取組み

●高効率型空調機の導入

事務所棟の空調機を高効率型に更新しました。
効率の高い空調機への更新により省エネ効果が見込まれます。



生物多様性保全への取組み

●周辺美化活動

真岡工業団地総合管理協会の主催で、真岡工業団地内の一斉清掃が11月16日（火）に開催されました。当社も工場周辺道路の清掃活動に参加しました。



2021年度 拠点ごとの活動状況

王子工場 ～確かな品質管理で、信頼を得ています～

王子工場は、アルミ箔蓋材と塗工紙を製造しています。アルミ箔蓋材は、英国より「レクタシール(登録商標)」(加工アルミ箔による容器封緘材)の技術を導入して以来この分野での高いシェアを獲得してきました。これは、容器に高周波で加熱して接着する独自の技術であり、食品などの蓋材シール方法としては画期的なものとして、お客様の商品の品質保持に役立っています。また、塗工紙・フィルムの分野では、豊富なノウハウを基盤に最新の大型塗工機を駆使して、多様化するニーズに対応しています。私たちは、常に時代を先取りした多彩な加工技術で、「つぎ」へのチャレンジを行なっています。



環境指数の実績

項目	省エネ原単位 (kℓ/km)	CO ₂ 排出量(t)	水資源投入量 (kℓ)	総廃棄物量(t)	最終処分量(t)	PRTR対象物質 排出量(t)
実績	0.043153	1737	19	490	148	38
前年比	+9.9%	+16.1%	-4.4%	+7.7%	+20.2%	+8.6%

環境負荷低減のために ～廃ガス処理設備導入～ 有害物質排出削減への取組み

●蓄熱燃焼式排ガス浄化装置導入

新印刷機導入に伴い導入した排ガス浄化装置は、有機性悪臭や有害な揮発性有機化合物(VOC)を高効率燃焼分解により無害化すると同時に、セラミック製ハニカム型蓄熱材により熱エネルギーの低減ができています。

排気ガス中のT-VOC(総揮発性有機化合物)を96.9%除去(実測値)できており、都条例(都民の健康と安全を確保する環境に関する条例)の規制基準に適合しています。



富士工場 ～再生の出来る環境に優しい製品を作り出しています～

富士工場では、クリーンな作業環境と厳しい品質管理のもとで食品用の紙管容器、感光材用の紙管、産業用塗工紙などを製造しています。

私たちは、地球環境にやさしい素材の追求で、「つぎ」へのチャレンジを行っています。



環境指数の実績

項目	省エネ原単位 (kℓ/千円)	CO ₂ 排出量(t)	水資源投入量 (kℓ)	総廃棄物量(t)	最終処分量(t)	PRTR対象物質 排出量(t)
実績	0.000545	232	2	93	6	0
前年比	-1.7%	-18.0%	-35.4%	+19.8%	-32.1%	—

※富士工場では、PRTR法の対象物質を法基準を超えて取り扱っていません。

2021年度 拠点ごとの活動状況

PT.DYNIC TEXTILE PRESTIGE

2014年、インドネシア共和国に設立。自動車資材関連を中心とする不織布材料の製造・販売を行っています。

本社・工場

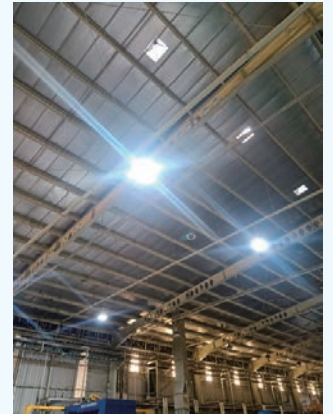
Kawasan Greenland International Industrial Center (GIIC)
Blok CD No.01 Kota Deltamas, Desa Pasir Ranji, Cikarang Pusat,
Bekasi-17530
TEL:62-21-3003-2912、62-21-3003-2913
FAX:62-21-3003-2914



環境負荷低減のために ～省エネルギー設備導入～

●照明のLED化

工場内の水銀灯照明をLED化しました。
水銀灯に比べ、70%消費電力を削減できただけでなく、電圧が安定し、ショートなどによる火災リスク低減につながっています。



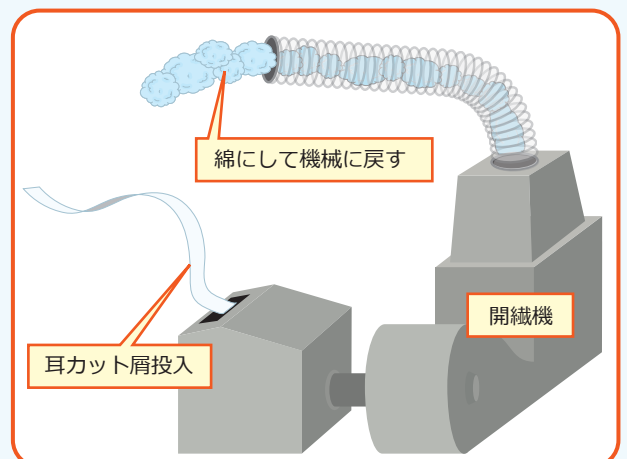
環境負荷低減のために ～廃棄物削減・資源有効利用～

●廃棄物削減

塗装設備から排出された「廃液（製造時、残塗料など）」を凝固・浄化して排出する設備を導入しました。
この結果、排出量を80%削減できました。

●資源有効利用

生産工程で発生する耳カット屑をリユースしています。
毎月400kg程度の廃棄物量を削減しており、資源の有効利用ができています。



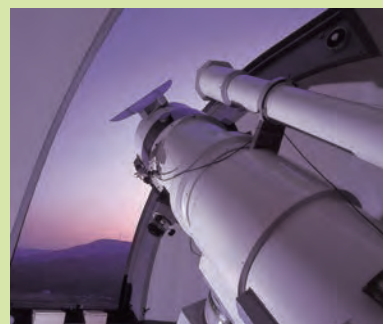
リユースまでのイメージ図 ▶

2021年度 拠点ごとの活動状況

アストロパーク天究館

ダイニックアストロパーク天究館は、口径60cmの反射望遠鏡と各種観望機器を備えた民間企業初の公開天文台です。

創業以来、ブッククロスを通じて文化・教育の分野に深く係ってきたダイニックが社会貢献と文化活動の理想として1987年に開設しました。



テレビ・新聞などでの広報活動

●天究館が、テレビ放送や新聞で紹介されました。

昨年度は地元テレビ放送局が、「多賀の星を見に行く」という内容で放映したほか、当館所蔵品を「名品」として新聞に掲載していただくなど、活動を紹介していただきました。

●木辺成磨氏 31cm反射望遠鏡

国内の反射式望遠鏡光学系製作の黎明期に活躍されていた、木辺成磨氏製作の鏡を搭載した口径31cm反射望遠鏡（1934年製作当時では国産望遠鏡最大）を、天究館にて所蔵しています。大きさだけではなく、光学的性能も現在の精密研磨されたものと遜色のない、大変よく見える歴史的な望遠鏡です。2021年5月、毎日新聞の名品手鑑に大きく取り上げられました。以前は非公開としていましたが、2021年より定例観望会開催時に一般公開しています。



▲定例天体観望会にて、「木辺成磨氏の口径31cm反射望遠鏡」を公開し、実際に使用していただいています。

定例天体観望会

●デジタルプラネタリウム

当社創立100周年を機に導入した本格的なデジタルプラネタリウムも引き続き大好評です。



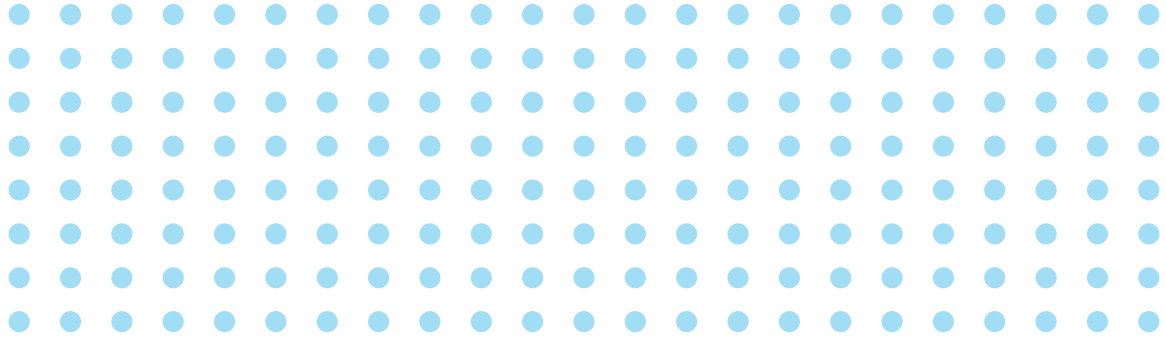
▲2021年8月12日のペルセウス座流星群出現のシュミレーション。

天究館では毎週土曜日に開催する定例天体観望会のほか、天体イベント（皆既月食や流星群など）に応じて開く「随時天体観望会」などを開催しています。

残念ながら、毎年夏に多賀町産業環境課の協力を得て催す「星空☆自然観察会」は、新型コロナウイルスの影響で、2021年度も開催できませんでした。

新型コロナウイルス対応のための制限が無い期間であれば、プラネタリウムや天文台の望遠鏡を使用し、専門スタッフが案内する定例天体観望会を開催しています。

定例天体観望会 毎週土曜日19:30~21:30
観望料：小中学生100円 高校生以上：200円



『環境報告書2022』

発行：ダイニック株式会社 環境推進室

発行日：2022年8月18日